

【靴の用語集】

アーチ	元々は橋桁や門などに見られる半円状の所を言うが、靴業界では土踏まずの所をアーチと言います。
アーチサポート	足裏のアーチが落ち込んだ所を、持上げるインソールやパッドに使われる単語です。
アイレット	靴紐を通す穴。又は穴に付けた金属の金具、鳩目（はとめ）を言います。
アウトサイド・クォーター	靴のヒール部を補強する革の事で、靴のデザインもかねています。
アウトソール	地面と直に接する靴底部分でレザーやラバー、ウレタンのものであり、本底、表底とも言います。
足入れサイズ	靴の内側や底に表示してあるサイズ（足長）。靴自体は捨て寸がある為、表示サイズより長くなっています。
アデレード	靴の内羽根を竪琴の形にしてあるものをそのように呼びます。
アッパー	靴の甲部分のことを指します。
アドバン	革の仕上げ方で色のムラをわざと出して透明仕上げをしたものを言い、ガラス加工に似ています。
穴飾り	靴のつま先等に穴で模様を付けるもので、メダリオンとも言います。
アニリン仕上げ	合成染料で仕上げられた皮革のことで、透明感が出て皮革本来の質感が出ます。
編み上げ	紐を左右に交差させながら締め上げていく物で、編み上げブーツ等に用います。
アメリカ・サイズ	イギリス同様インチ表示ですが、起点が1 2/1 インチ踵より。アメリカでは靴型の大きさを表示するサイズです。
アメリカンダービー	外羽根（ダービー）でアメリカントラッドの靴を呼びます。
アルバート・ブーツ	サイドゴア・ブーツのこと。ヴィクトリア女王の夫君、アルバート公が履いたのでその名が付けられました。
アロマティックシダ	アメリカ東部に生息する自然の防虫木材で、湿気を吸収するの

ー	で防虫・防腐効果があり、人間に優しい香りです。
アングル・ストラップシューズ	足くびの部分をベルトで固定するシューズで、レディースのポンプシューズに多いデザインです。
アングルブーツ	くるぶし部分までの深さのブーツです。
安全靴	つま先に鉄の芯が入っており、重い物が落ちてもつま先を守る靴で、工事現場等で使われている作業靴です。
アンティーク仕上げ	アンティーク調を出すために、靴の甲部分に色むらを出す特殊な仕上げをしたものを指します。

【い】

イギリス・サイズ	イギリスの靴サイズ表示法で、足長は踵から4インチ（約101.6ミリ）の所を起点（0）とします。
一枚甲	靴のアッパーを1枚の革でつくったもので、別名「シームレス・シューズ」ともいわれます。
イブニング・シューズ	夜のフォーマルな機会に履く靴で、女性はパンプス等のヒールものを指します。男性はプレーンの総エナメルが主流です。
インジェクションモールド・システム	塩化ビニールを熱で溶かして金型に注入して靴をつくる方法で、レイン・ブーツなどで使われています。
インステップ	足の甲から土踏まずにかけての部分で、靴型および靴のこの部分に相当する個所の事を言います。
インソール	ランニングや歩行をより快適にする為に靴の中に入れる中敷で、中底を指す場合もあります。
インナーソール	靴の中に入れる中敷でインソールと同様の意味で、オーダーインソールを指す場合もあります。
インレイ	英語ではめ込むという意味を指し、革をカットしてくりぬき、別の素材をはめ込む高度な加工技術です。

【う】

ヴァンプ	靴の甲の部分の呼び名で、飾りを施さないシンプルなデザイン
------	------------------------------

	のシューズ全般を指す場合にも使用する言葉です。
ウイズ	足囲を指し、親指と小指の付け根部分をメジャーで計測します。A・B から E・2E・3E・4E 等を指す。
ウィングチップ	つま先部分に施した穴飾りや縫い目飾りを指しますが、飾りを施してある靴自体の事を呼ぶ場合もあります。
ヴィンテージスチール	つま先部分に補強の為に装着するスチールで、サイズ、カラー各種から選べます。
ウエッジ・ソール	土踏まずの部分がへこんでおらず、かかと部分が高く、つま先に向かって低くなる船底形のヒールを指します。くさび型。
ウエスト	足や靴の土踏まずの部分を指します。ウエストがフィットしていると歩行時に疲れにくいです。
ウエリントン・ブーツ	英国のウエリントン将軍の名が所以で、膝までのブーツを言います。HUNTER ブランドが有名。
ウェルト	靴の甲と底の継ぎ目に縫い付ける細い革の事で、フラットウェルト、ストーム・ウェルト等があります。
ウェルト・シューズ	グッドイヤー・ウェルト製法のシューズの事を指します。
ウォーキングシューズ	長時間の歩行にも疲れにくい構造、素材、デザイン、機能性を備えたシューズの事を指します。
内羽根式（バルモラル）	レースステイが甲部と一体化している靴で、冠婚葬祭等、フォーマルな場には最適なデザインです。
内振り	靴の土踏まずから先の角度を内側に傾ける事で、内振りの木型は足に優しく女性向きです。
馬毛ブラシ	馬の尻尾の毛で作ったブラシで、埃落としやコードバン、バッグ等のお手入れに最適です。
裏はとめ	靴紐を通す穴を補強する為に裏側から取り付けるハトメの事を指し、表ハトメはカジュアルなデザインに適しています。
裏革	スエードの意味と靴や鞆の裏側に張った皮革の意味の二つがあります。
裏材	ライナー、ライニングとも言われ、柔らかい天然皮革や抗菌加

	工の合皮等、種類は様々です。
ウレタン・ソール	ウレタン素材の靴底で、軽くて丈夫、滑りにくく、雨に強いです。経年劣化、加水分解に注意が必要です。

【え】

エイジング	天然皮革が長年の使用によって変化していく様を指し、理想的なエイジングには素材、仕上げに合ったケアが必要です。
エキゾチックレザー	クロコダイル・リザード・パイソン等の爬虫類やオーストリッチ・ガルーシャ・イール等の特殊革の事を指します。
エスパドリーユ	甲がキャンバス地で底に麻のロープ・ソールを付けたリゾート用サンダルの事で、フランス、バスク地方が発祥となっています。
エッジ	つま先の立ち上がりを入エッジと言ひ、コバやスケート靴の歯の意味もあります。
エナメル・レザー	皮革にウレタン樹脂を吹き付けてある素材です。
エラスティックスリッポン	靴ヒモを結ぶ部分がゴム（エラスティック）になっている脱ぎ履きしやすい靴を指します。
エルク	ヘラジカの別称です。
エンジニアブーツ	技術者（エンジニア）が履いていたとされる安全靴やワークブーツなど、主に革が堅く紐のないブーツを指します。
塩蔵（えんぞう）	塩に漬けてこんで長期保存したもので、塩漬けを意味します。
エンボス・レザー	爬虫類（ワニ・トカゲ）などの模様を型押しし似せたレザー。

【お】

オーストリッチ・レザー	ダチョウの皮をなめした革で、羽根を抜いたあとが小さく盛り上がっているのが特徴的です。一般的に丈夫で軽い。
オーソペディック・シューズ	医師（整形外科）が処方する、足の治療や運動を補助する目的で専門の技術者によって処方された靴を指します。
オデコ靴	つま先が盛り上がり、全体的に丸みがある デザインをしている

	靴を指し、黒のヒモ結びの靴が一般的です。
オーナメント	飾り
オーバーシューズ	雨の日などに靴の上に履くビニールやゴム製の靴（カバー）のことを指します。
オーバレイ・プラグ・シューズ	米国での呼び名で、ゴルフシューズとして愛用され、日本ではUチップの呼び名が有名です。
オープン・トゥ	つま先が切り取られる（覗く）ような形状になっている形を指します。
オープントラック	靴の本底に出し縫いの糸が見えている仕上げを指します。
オイルなめし	動物の油を使用しなめす方法で、主に柔らかい革を作る場合に用います。
オールドレザー	馬の油などをしみ込ませて仕上げた革で、一般的には堅い牛革で防水性が高いです。
おかめ飾り	ウイングチップ。日本では、おかめの額に似ていることから連想されます。
オックスフォード・シューズ	一般的な靴の形で、ヒモで結ぶ短靴の総称を指します。
オパンケ製法	ソールの位置を高く引っ張りあげ、見える位置で縫い合わせるデザイン色の強い製法を指します。
オブリック・トゥ	靴のつま先のラインが母趾から小趾に斜めにカットされたデザイン。主にコンフォートシューズや子供靴に多いです。
オペラ・パンプス	パーティ用などにリボンが飾られたスリッポンタイプの靴を指します。
表底	床面や地面に接する部分で、アウトソールや本底とも言われます。

【か】

外反母趾	母趾（親指）が小趾側に曲がってしまう事で、母趾の付け根が腫れあがってしまい痛みを伴うことが多いです。
------	--

ガース	足の甲周りを測った寸法を指します。
カーフスキン	生後6カ月以内の子牛の革で、キメ（毛穴）が細く非常に柔らかいのが特徴です。高級革製品に使用される素材でもあります。
カウハイド	生後2年程経過したお産後の雌牛の革を指し、出産後腹部の繊維が緩みや粗いのが特徴です。革底や家具に使用されます。
カウボーイ・ブーツ	アメリカ西部発展のブーツで、ウエスタンブーツとも呼ばれカウボーイが馬に乗る時に便利な仕様となっています。
カウンター	靴のカカト部分を美しく保つために使用される半円形の芯を指し、別名「月型」とも呼ばれています。
カクテル・シューズ	主にパーティなどに履かれるエレガントで華やかなデザインの靴で、エナパーティを使用した靴が多いです。
型押し革	革の表面を機械で加圧し様々な模様をプリントした革で、エンボスとも呼ばれています。
カック	表面にアザラシ、内側に温かな毛皮を使用した極寒地で履かれる防寒靴を指します。
カッター・シューズ	主にヒール部分の低いパンプス全般の事を言い、別名フラットヒールとも呼ばれています。
カミック	主に子供靴の事を言い、ヒール部分が無く柔らかい革底を使用しているのが特徴です。
ガム・ブーツ	主にゴム長靴の事を言い、最近ではハンティングシューズ・ブーツの事もこの名称で呼ばれています。
飾り革	靴の先端を被う革片で、主にウイングチップ・ストレートチップ等のデザインの事を指します。
カジュアルシューズ	主に軽装時の普段履きに履く靴の事を言います。
カラス仕上げ	革底の底部を黒く塗装した仕上げで、黒色から「カラス」と呼ばれています。よりフォーマルに見せる仕上げです。
ガラス張り革	なめした牛革をガラスや板に貼りつけ乾燥させ、合成樹脂で仕上げた革で、耐水性と強い光沢感が特徴です。
カリフォルニア式製	プラット式とも呼ばれる製靴法を指します。クッション性が良

法	くコバに革を巻きつけるデザインがスポーティーな印象があります。
カルナバワックス	主産地はブラジルで、ヤシの葉を覆うロウが主成分です。シューポリッシュやカーワックス等にも使用されます。
皮・革	動物から剥いだ「皮」をなめした物を「革」と呼びます。
顔料	水や油、アルコール等に不溶の色料を指します。

【き】

木型	靴などの製品の型で、木や合成樹脂・金属などで足の形を作る靴作りの土台となる物を指します。ラストとも呼ばれます。
木靴	オランダの木靴が代表的で、湿気に強くその硬さから足を守る安全靴としても履かれていました。
キッカー	バックステイ（カカト）に横一文字に施される縫製で、靴を脱ぐ時にこの部分を踏んで脱ぎやすくします。
キップ	生後半年～2年の牛革でカーフより肉厚で丈夫ですが、キメ（毛穴）の細かさではやや劣ります。
キッド	子ヤギの革で細かなシボが特徴です。ゴードに比べると革が柔らかくしなやか、主にハンドバッグに使用されます。
起毛皮革	皮革の裏革を加工した皮革で、主にスウェード・ベロア・ヌバック等をまとめた皮革用語です。
キャップトゥ	つま先部分に横一直線にステッチの入った靴を指し、ストレートチップ・一文字とも呼ばれるデザインです。
キャラバン・シューズ	主に軽登山用の靴で、(アッパーの素材は様々)「トレッキング・シューズ」と呼ばれることが多いです。
キャリッジ・ブーツ	防寒を目的とした婦人用オーバー・ブーツで、履口は毛皮で縁取られているパターンが多いです。
キャンバス・シューズ	キャンバス地（綿や麻など）の丈夫な帆布をアッパーに用いた靴を指します。
キューバン・ヒール	ヒールパーツの名称で、全体に太くヒールの底面に向かい自然

	に細くなる形状となっています。
矯正靴	足の変形を矯正することを目的とした整形靴を指します。
ギリ	舌革がなく甲部の紐を交差させ締めるローカットの紐靴で、スコットランドの高地で生まれた形状とされています。
キルトタン	切込みをつけたデザインの舌革のことで、ゴルフ・シューズ等によく見られます。
銀付き革	銀面のある革の事で、塗装されている革（ガラス革等）と区別する意味合いで使用されています。
銀面	革を製造する工程で、毛と表皮層を取り除いた真皮の表面を指します。

【く】

クォーターブローグ	ストレートリップの形状で、メダリオンは無くパーフォレーションのみのパターンとなります。
鎖縫い	表面に鎖状に縫い目をつくる刺し方で、チェーンステッチとも呼ばれます。
靴型	靴を作る際に使用する型で、主に木型の事をあらわします。
靴紐	靴の脱ぎ履きに使用する紐で、シューレースとも呼ばれます。
グッドイヤー・ウェルト式製法	中底に貼り付けられたリブにウェルトを縫い付け、ウェルトとソールを専用の機械で縫合する製法を指します。
九分仕立て	ハンドソーンで中底とウェルトを縫い付け、ソールとの縫合をグッドイヤーウェルトマシンで縫い上げたものを指します。
グランパ・ブーツ	ボタン止め式のブーツのことを指します。
グレイン・レザー	銀付き革のことを表しますが、揉み革（手で揉んでシワを付け加工された革）の事もあらわします。
クレープ・ソール	うすい飴色で、表面にシボ状などの模様があるゴム板のソールパーツを指します。
グレージング	革を作成する工程で、メノウ等で革の表面をこすり、光沢を出す仕上げです。

クロコダイル	ワニの種類で、アリゲーター、カイマン等もあります。
クロムなめし	植物鞣しでは無く、鉍物（クロム塩）を鞣し剤とする鉍物鞣しを指し、鞣し方法の主流になっています。
グローブ・レザー	元来はグローブ用に鞣された革で、オイル鞣しが一般的です。

【け】

化粧革	靴のかかとの底部につける厚革です。
ケミカルシューズ	合成皮革で作られた靴です。
健康靴	足の健康を考慮して作られた靴です。
原皮	なめしなどの加工をしてない皮です。

【こ】

コート・タイ	コートは「宮廷」、タイは「結ぶ」の意味を表します。つまり、宮廷における儀式用のひも靴のことで、紳士はエナメル製のオックスフォードです。
ゴート	大人の山羊革を指し、銀面は特有の凹凸をもち耐摩耗性に優れています。ヤンピーとも呼ばれます。
コードバン	農耕用馬の臀部から採れる皮革で、コードバンを使用した製品として有名なものはランドセルなどがあります。
ゴア	ゴム糸を織り込んだ伸縮性の生地を指します。
ゴアテックス	1平方センチメートルに14億個の微細な孔を含み防水性と透湿性を両立させています。水蒸気は通すが雨は通さない構造となっています。
ゴア・ブーツ	サイドや履き口などにゴム布を取り付けた靴またはブーツを指します。
コイン・シューズ	甲の部分に1セント硬貨（ペニー（penny））を挟んだりすることから、ペニー・ローファー・コイン・ローファーとも呼ばれます。
甲革	靴の上部の革です。

合成底	主原料が石油系の「合成ゴム」でできた靴底です。
合成皮革	基布に樹脂等を付着させて、天然皮革類似の風合いとしたものを言い、フェイクレザーとも呼ばれます。
腰裏	靴中の踵が当たる部分です。
腰革	アッパー革のサイドの部分です。
コトルノス	厚底靴のルーツで古代ギリシャで呼ばれていた名称で、その靴底の厚みは10センチ程もありました。
コバ	靴底と、靴を縫い合わせている部分の箇所を指します。靴底のサイド部分を言います。
コバ目付け	ソールをウェルトに縫い付ける段階で生じる縫い目を目立たないようにする意匠です。
コマンドソール	英語で「突撃隊」や「ゲリラ隊」を意味する前者は、イギリスの ITSHIDE ブランドを代表する製品です。
コルクファイラー	靴の中底に入れる練りコルクの事で、これを入れることでクッション性がよくなり履き馴染みが良くなります。
混合なめし	2種類またはそれ以上のなめし剤を組み合わせで行われるなめしを指します。
コンタード・インソール	ジョンストン&マーフィーに用いられる靴のフィッティングを高めるための基本設計を指します。
コンフォート・シューズ	足の健康を考慮して作られた履き心地のよい靴で、外反母趾等、足のトラブルが急増していることを背景があります。

【さ】

サイズ・レンジ	サイズ構成の最小から最大まで、その幅のことを指します。
サイドウォール	靴の左右両サイドのアッパー部分です。
サイドゴア	靴の両側にゴアを挟んだもので、ブーツでよく見られます。
サイド・シーム	靴の内側部分の革をつないだ縫い目のことです。
サイド・レザー	原反の皮を半分に裁断し、鞣された革を指します。

先芯	靴のつま先部分に入れる芯で、先部の形を整えるだけでなく、つま先を保護します。
サボ	木靴の一種、しなの木等からつくられます。
サドル・シューズ	乗馬の際に取り付けるサドルを靴の上に置いたかのように見える靴で、コンビレザーであることが多いです。
サドル・レザー	乗馬の際に取り付けるサドルに使われた革で、カバンや靴に使われています。
サンダル	足が露出した状態の履物で、主に紐やベルトを使用します。

【し】

室内履き	室内専用の履物で、カカトのないスリッパとは区別が必要です。
シームレス・シューズ	一枚の革のみでつくられたアッパーを使用した靴、縫い目がないのが特徴です。
シープ	羊の皮を鞣した革のことで、柔らかいのが特徴で手袋やジャケットに使用されます。
舌革	つま先部分から靴の履き口までの部分を指します。
渋なめし	植物タンニンを使用した鞣しを再sます。
植物タンニンなめし	渋なめしと同意。
シャンク	靴の土踏まず部分を指します。
シューキーパー (シュートリー・シューズキーパー・シューツリー)	靴の型崩れを防ぐために使用するもので、靴の中の湿気を吸収する効果があります。
シャークソール	リップルソールとも言われ、さざ波のような形をしたラバーソール。すべりにくく、クッション性も高いです。
シュークリーム	革を長持ちさせるための保革栄養クリームです。
シューケアマイスター	皮革製品のケアについて厳しい研修を受け、試験に合格したもののみに与えられる称号で、シューケアのプロフェッショナル。

シューズブラシ	靴のケア専用のブラシ、主にホコリ落とし用の馬毛とツヤ出し仕上げ用の豚毛のものがああります。
ジュート（巻き）	麻でつくられた靴材料、主に婦人靴に使用されます。
シュー・フィッター	靴のサイズを合わせる専門家の呼び名。
シューホーン	靴を履く際に使用します。木、プラスチック、メタル、グラス、水牛の角等で作られたものが有名です。
シューレース	靴を履く際に足を固定するヒモで、革や糸などが有名です。
シュリンク・レザー	なめしの工程中に特別な薬品を加えて銀面を収縮させ、独特のシボが現れた革を指します。
ジョッパーブーツ	くるぶしの上までの深さで、履き口をサイドに合わせてベルトでとめるスタイルのブーツです。もともとは乗馬用で「ジョドファーブーツ」とも呼びます。
ジョドファーブーツ （＝ジョッパーブーツ）	ジョッパーブーツと同意。

【す】

スイートアーモンドオイル	スイートアーモンド種子から搾取したオイルで、皮膚に浸透し皮膚を柔らかくする効果があるとされフットマッサージ等に用いられます。
スウェード	鞣しの過程で銀面の裏側を細かく起毛させ、それを表面として仕上げた革を指します。
すくい縫い	2本の糸、あるいは1本の糸の両端をひとつの針穴に刺し縫う方法で、ウェルト製法には欠かせない縫い方を指します。
スクエア・トゥ	トゥのかたちのひとつで、トゥの先端が四角いものを指します。
素仕上げ	表面に何の仕上げ加工も施していない革です。
スタックド・ヒール	積み上げヒールのことで、革を積み上げた層が縞模様を成しているのが特徴です。現在ではプラスチックのヒールにプリント等を行うのが一般的です。

ステア	生後 3~6 ヶ月の間に去勢された、満 2 歳以上の牡成牛の革で、キメの細かさはないものの、その分厚みがあり強度に優れています。
スティングレイ	エイの革で、小さい粒状のウロコと真珠のような光沢の「石」が特徴です。希少価値が高く「ガルーシャ」とも呼ばれます。
捨て寸	靴型の設計またはフィッティングにおいて、靴のつま先部分に取る余裕のことです。この余裕がないと、歩くたびにつま先が靴に当たってしまいます。
ステッチ	縫った際の針目、あるいは縫い方のことを指します。スキンステッチ・ライトアングルステッチなどさまざまな縫い方があります。
ステッチダウン式製法	靴の製法のひとつで、アッパー・ライニング・インソール・アウトソールをコバ部分で一気に出し縫いします。クラークスのデザートブーツが代表的です。
ストッキング・ブーツ	筒が太もも付近までと長くやわらかい革や伸縮性のある素材で、またはニットなどで作られたストッキングのような婦人用のブーツを指します。
ストーム・ウェルト	ウェルトとアッパーにすき間ができないように、ウェルトの内側に沿って靴の周囲に革を取り付ける仕様のウェルトを指します。
ストラップ	ひも。靴ではひも状の革をアッパーやライニングなどに幅広く使用し、デザインに変化をつけています。
ストラップ・パンプス	甲部分にストラップをあしらったパンプスのことを指します。
ストレッチ・ブーツ	伸縮性のあるストレッチ素材を使用したブーツを指します。
ストレート・チップ	ヴァンプ部を一直線に横切るシームがアクセントになったデザインの靴を指します。紳士靴の代表的なデザインのひとつで、冠婚葬祭に用いられます。
スニーカー	ゴム底でアッパーが布製の運動靴タイプの靴で、現在では広くスポーツシューズタイプの靴を指します。
スネーク・スキン	へビ革の総称。

スノーブーツ	雪上で行動するためのブーツで、防滑性と防寒を考慮しライニングにボアや毛皮を用いるなど、様々なタイプがあります。
スパッツ	足首に付けるアクセサリで、用途は様々で登山時の泥除け、溶接工の安全具、軍隊などの伝統的ユニホーム等に使われます。
スピードフック	ミリタリーブーツなどで多く採用される、靴の着脱を早くする為のものを指します。
スピードソール	ソール前方はダブルソール、踏まず部分はシングルソール、耐久性と返りの良さを兼ね備えた物を指します。
スポンジソール	クッション性、屈曲、軽量に優れてはいますが、摩耗に弱いです。
スムース	銀付き革、表面が平滑な革のこと。
スリッポン	着脱が簡単な靴で紐や留め具がなく、スリップ-オンが特徴です。
スリング・バック	婦人靴のポンプス、サンダル等で、後部をストラップでつるすようにバックルなどで締める物を指します。
スワール・モカシン	甲周りにあるモカシン縫いが、2本線のままつま先に落ち込んでゆくデザインの靴で、「流れモカ」とも言います。
スワンネックステッチ	羽根の部分にあしらわれたステッチで、その形状からスワンネックステッチと呼ばれています。

【せ】

セーム革	仔鹿、シープスキンの床革をスエード調に仕上げた革で、手袋や衣料用、さらには洗浄用・研磨用に使用されます。
製靴	製靴（せいか）。靴を加工・製造することを指します。
製甲	甲革を縫製してまとめる作業のこと。
セットバックヒール	ヒールの重心位置が後方にずれたような感覚で、斜め後方に押し付けられたような形状のヒールのことを指します。
セミブロークス（セミ	ストレートチップやプレーントウにパーフォレーション（足の

ブローグ)	甲部分の穴飾り) で装飾したものを指します。
セミ・パンプス	オープントゥやオープンバックなどのパンプスです。
セメンテッド式製法	アッパーと表底を接着剤で接合する靴の底付け方法で、低コスト且つ製法が簡単な上、量産向きです。
センター・シーム	靴の甲の前部縫い割りのこと。
染料	革を染めるのに用いる物のことで、植物染料、アニリン染料などがあります。

【そ】

ソール	靴底はすべてソールと呼び、インソール（中底）とアウトソール（表底）といます。
足囲	足の踏み付け部の親指と、小指の付け根を取り巻く長さ。
足長	かかとの後端から最も長い足指の前端までの長さをいいます。
底革	表底用になめされた革で、ステアハイドをタンニンなめしを施します。
底付け	靴のアッパーに靴底、ヒールを付ける作業のこと。
外鳩目	表から鳩目の金属が見えるもので、カジュアルな見た目になります。
外羽根式	羽根が甲部の上に被せるように縫われたもの。(ブラッチャー、ブルーチャー)

【た】

ダービー	外羽根式の総称で、おもに短靴を指し、英語では blucher (ブラッチャー) と呼ばれます。
ダイナイト	英国製ラバーソールの1種で、底面の丸い凹凸が特徴です。
出し縫い	グッドイヤー・ウェルト製法の工程の一つで、ウェルトとソールを縫い付ける作業のことを指します。
タックス	鋌の意味。靴の場合、アッパーを釣り込む際に使用する小さな釘のことを指します。

タッセル	アッパーの装飾の一部で、房状の飾りのこと。タッセルローファーが代表例です。
ダブル・ソール	本底と中底の間に『ミッドソール』を挟み、2枚構造にしている仕様をいいます。
ダブルモンク	靴紐ではなく、2つのストラップで履き口を締める仕様の靴。ウィンザー公が愛した靴としても有名です。
タン (タング)	舌革とも呼ばれる、トゥからインステップまで伸びる革で、靴内部へのホコリ・汚れの侵入を防ぐ役割があります。
短靴	トップラインが踝よりも下にある靴の総称です。
タンクソール	ソールがギザギザした形状の仕様のことで、ラグソールとも呼ばれます。アウトドアなど過酷な環境にも適したソールとされています。
タンニン	多くの植物の葉などに含まれている成分のことで、なめしの工程でタンニンを用いたものをタンニンなめしと呼びます。
タンニンなめし	なめしの工程でタンニンを使用したなめし法。他のなめし法に比べ手間がかかります、エイジングが楽しめます。

【ち】

チップ	靴の先端部分の革のパーツを指し、飾りが施されたものもあります。
チェーンステッチ	靴の縫い方のひとつで、鎖状に見えるためにチェーンステッチと呼ばれます。
チェスナット	直訳するとドングリの意味で、タンニンなめしの際にも用いられます。チェスナット・ブラウンという色名もあります。
チェルシー・ブーツ	踝丈のサイドゴアブーツのことを指します。
チャッカー・ブーツ	トップラインが踝にかかる程度のブーツのことで、2アイレットもしくは3アイレットの外羽根式が標準です。デザートブーツもその一種です。
チャンネル	直訳すると溝の意味ですが、靴の場合は中底・本底を縫い付ける際に糸を通すため、それぞれの縁に掘る溝のことを指しま

	す。
チュールメッシュ	ラッセルレースの組織例のひとつで、靴以外にもレースカーテンやシャツ、雑貨など多岐にわたり使われます。
チロリアン・シューズ	アルプス地方発祥の靴の1種で、高原や登山用に適しています。そのため、アッパーには比較的厚手で頑丈な革が用いられ、ソールにもラギッドソールが装着されています。

【つ】

月型	アッパーと裏革の間に入る半月型の芯のことで、カウンターと呼ばれ、踵の型崩れ防止の役割があります。
爪先上がり	トゥ・スプリングとも呼ばれ、つま先が持ち上がっていることを指します。歩きやすさを左右する重要なポイントの一つ。
爪先革	アッパーの部分のひとつでバンプとも呼ばれ、その名の通り、足のつま先周辺を覆う革を指します。
積上げヒール	革を積み上げて重ねて作ったヒールをいいます。
つり込み	アッパーを木型に被せて引っ張り密着させる作業のことで、靴の形を作っていく作業です。

【て】

ディアスキン	鹿革のこと。繊維組織のきめが細かくなめらか、かつ強度にも優れている点が特長です。
ディーコン	生まれて間もない子牛の生皮を指します。
デシ	皮革の面積の単位。1デシは10×10センチの大きさを指します。
ティー・ストラップ	サンダルやパンプスのデザイン。甲部分がT字型のストラップでデザインされたスタイルをいいます。
デザート・ブーツ	チャッカー・ブーツの一種。二つハトメで、ステッチダウン式でつくられたゴム底のアンクル丈ブーツを言います。
デミ・ブーツ	短靴よりもトップラインが少し高い、くるぶし丈のブーツを指

	します。
デッキ・シューズ	船の甲板で履きやすいようにつくられた靴。靴底はゴムなど滑りにくい材質。オイルをしみ込ませたオールドレザーが一般的です。
デッキソール	スペリーソールのように水をはじく独特の意匠が施されており、ゴムのソールには細かい波形の切れ目が入っています。

【と】

トゥ	足、靴型、靴のつま先などの総称です。
トゥ・スプリング	靴のつま先が持ち上がっている状態のことを指します。
床革	革の表皮の層を取り除いた繊維層の革の部分を「床」と言い、床を鞣したものを「床革」といいます。
床面	肉面のことで、皮の裏面の肉に接していた面を指します。
トップ・キウゾ	限界まで削り込まれたコバの仕様です。
トップ・パッド	靴の履き口の辺りをよくする為に取り付けたパッド。主にカジュアルシューズやスポーツシューズで採用されています。
トップ・ライン	靴の履き口のことを指します。
トップ・リフト	ソールの一番下の部分で地面との接地面の小片。素材は革や、ゴム、合成樹脂などがあります。
ドライビングソール	靴底がゴム、もしくはレザーにゴムが埋めこまれたタイプの靴底。ペダリングによる踵のすり減りの予防効果があります。
ドレス・ブーツ	フォーマルスーツに合わせても違和感のないデザインのブーツの総称です。
ドレス・シューズ	フォーマルな装いにも合うドレスシーな雰囲気を持ったデザインの靴です。
トレッキング・シューズ	ハイキングや軽登山用の靴のことを指します。
トングサンダル	草履のような鼻緒式のサンダルをいいます。

【な】

中底	靴内部の底のことをいいます。
中敷き	靴の内部に敷く敷物のことで、足裏のフィット感をあげる形状のものもあります。
中物	縫製後の中底と本底の間隙を埋め、足なじみをよくするもので、皮、コルク、スポンジ、フェルトなどが使用されています。
流れモカシン	スワールモカシンを指し、アッパーのモカシン縫いが、U字ではなく2本線のスタイルの靴をいいます。
なめし（鞣す）	動物の皮から不要な成分を取り除き、樹液や薬品を使って耐久性や柔らかさを引き出し、革にする方法です。
ナーリング	ソールの加工法の一つで、レザーソールのアウトステッチの縫いに沿って、その内側に焼きゴテを使って刻印をする飾りのことを指します。

【に】

乳化性クリーム	靴クリームの中で最もポピュラーなクリームで、ワックス、油、水の3つの成分から成り、革に潤い・栄養・ツヤを与えます。
---------	---

【ぬ】

ヌバック	牛革の銀面を起毛させて、バックスキン（スエード）のように仕上げたものをいいます。
ヌメ革	皮を植物タンニンや合成タンニンで鞣した後、染色や塗料の仕上げをしていないナチュラルな革のことを指します。

【の】

ノーウィージャン・オックスフォード	Uチップのイギリス式呼び名を指します。
ノーウィージャン(ノルウィージャン製法)	ノルベジェーゼ製法と同義語です。

ノーウィージャン・フ イッシャーマンズ・シ ューズ	ローファーと同義語です。
ノーザンプトン	イギリス中東部に位置する都市で、英国靴の聖地として有名。 英国靴メーカーのファクトリーショップが点在しています。
乗せ甲	ラスト（木型）に部分的に革などを貼って幅や甲を足し、その 上からアッパーの革をつりこむ方法です。
ノルベジェーゼ（ノル ベゲーゼ）製法	アッパー・ライニング・中底を水平にすくい抜いし、コバ部分 からミッドソール・アウトソールに出し縫いを掛けたものをい います。

【は】

ハイシャイン（銀面磨 き）	靴のつま先やかかと部分を、ワックスを使用して磨き上げ、ピ カピカにする仕上げ方法です。
バーガンディ	ワインレッド色の別称で、コードヴァンの色として有名です。
ハートサイズ	靴の中で、よく売れる範囲のサイズのことを指します。
ハーフ・ブーツ	膝と踝（くるぶし）の中間程度の長さのブーツをいいます。
パーフォレーション	アッパーの装飾模様の一つで、大きい穴と小さい穴を組み合わ せた帯状の意匠です。
ハイド	なめしを施していない成牛などの皮で、重さがおよそ 25 ポン ド以上の重厚な皮を指します。
ハイ・ブーツ	乗馬靴や雨靴など、長靴の中でも脛まで達する特に深いブーツ をいいます。
ハイ・ヒール	婦人靴で 6～9cm くらいの高いヒール、またはその靴のことで す。
馬革	馬皮を鞣した革で、牛革より繊維が柔らかく、銀面が滑らいの が特徴です。靴の裏革・甲革・中敷などに使われます。
はき口	トップ・ラインの同義語です。
バックシーム	靴の踵（かかと）の後ろに見られる、革の縫い目部分です。

バックスキン	銀面が削り取られた鹿・大鹿の革で、現在では鹿革と同じ方法で処理・仕上げたものであれば、バックスキンと呼ばれる事が多いです。
バック・ストラップ	かかと部分が開いてストラップになっている靴のスタイルのことを指します。
バックル	ベルトや靴などの留め具のことをいいます。
撥水	水を弾くという意味で表面が濡れないように、水を寄せ付けないように加工するものです。
パティーン仕上げ	一足ごとに違う色味になるきれいな「むら染め」のことです。
パテントレザー	表面に合成樹脂を加工し、光沢や耐久性をもたせたエナメル革を指します。
はとめ	靴やベルトの通し穴などに使われる環状の金具です。
羽根革	外羽根式の靴の靴紐を解いた時に全開する羽根のことをいいます。
バフ	牛やシカの揉み皮です。
バルカナイズ式製法	製靴方法の一つで、釜で熱と圧力をかけて、ゴム底と靴本体を接着する製法です。
バルモラル	内羽根式。ヒモ編み部分の革の前部分をヴァンプに縫い付ける形式のことをいいます。
半カラス仕上げ	靴の底材の半分が黒い仕上げを指します。
半敷	ハーフタイプのインソール（中敷）です。
パンチド・キャップ・トゥ	つま先部分にブローキング（穴飾り）のみを使用したデザインの靴を指します。
ハンティング・ブーツ	狩猟用の靴で、滑りにくく工夫されています。靴底と甲は革やゴム製のものが多く、防水加工がされています。
ハンドソーン製法	製靴方法の一つ。インソールとウエルトを手縫いで縫い付ける製法です。
パンプス	履き口である甲部分と側面が浅く、広くカットされた靴の総称

	です。
バンブ	ヴァンプ、爪先革ともいい、甲の前部、爪先までの部分を指します。

【ひ】

ビスポーク	靴型、顧客の足に合わせてつくるオーダーメイドの靴。
ビーズワックス(蜜蝋)	ミツバチが巣を作るときに分泌される蝋を指します。
ビーチ・サンダル	ゴム・ビニールなど、水濡れに強い素材で作られたサンダルです。鼻緒式のぞうりのようなデザインが一般的です。
ビーフロール	インステップ・ストラップの両端をくるっと巻いて、紐で縛ったビーフロールのように仕上がったものです。
ヒール	かかと。靴のかかと部分を指します。
ヒール・カーブの穴	靴製造の過程で、木型を仮止めした時にできるかかと上部に開いている穴のことをいい、靴の不具合ではありません。
ヒール巻き	キズがついたりめくれてしまったヒール部分に革を張り替えて現状に近い状態に補修することです。
ヒール・リフト	ピンヒールの先についているゴムを指します。
美錠	ベルトや靴のストラップ部分など、長さを調節する際の金具です。
ビッグスキン	豚革。銀面に固い毛が突き抜けた跡の3つの毛穴が特徴です。
ビットローファー	馬の轡のはみの形をした甲の部分に金具をつけたローファーです。
ヒドゥン・チャネル	靴底を縫う際、糸を表に見えないように縫い合わせることで
ビブラム・ソール	イタリアのビブラム社が作る、機能的なオリジナルのラバーソール。ワークブーツなどに適しており、現在では主流になりつつあります。
ピンキング	ブローグズのように飾りが施された靴の甲についているキザキザした部分を指します。

ピンヒール	女性が良く履く、ヒール部が極端に細いものです。
-------	-------------------------

【ふ】

ファスナーガード	衣類等を傷つけないよう、ファスナーとの間にガードするものです。
フィッティング	調整や寸法合わせのことで、靴の場合であればサイズを合わせることを指します。
フットウエア	靴に履くものの総称で、靴やスリッパ、靴下等をいいます。
ブーツ	カカト部分が、くるぶしよりも上までくる靴です。
ブーツ・キーパー	ブーツの形が崩れないよう、形状を維持する為に保つものをいいます。
ブーツ・ジャック	ブーツを脱ぐ際に簡単に脱げるよう使用します。
ブーティ	アンクルブーツ同様、カカトまである靴のことを指します。
フォーマル・シューズ	正装をした際に履くような靴のことで、フォーマルとは「正式な」を意味します。
複式縫い	靴の底付け法の一つで、甲と底が直接縫い付けられていない靴のことで、グッドイヤーウェルトとも言います。
袋縫い式製法	アッパーと裏革を一緒に縫い付ける製法です。
豚毛ブラシ	豚の毛で出来たブラシです。
フットベッド	靴の中底部分に使用されているもので、靴のベッドを意味します。
ふまず芯	靴の歪みを防ぐ為、土踏まず部分に入れられる細長い芯材を指します。
ブライドルレザー	乗馬用の鞍等にも用いられる耐久性の高い革で、比較にたっぷりとロウ分が染み込ませてあり、重厚な光沢が特徴です。
ブラックラピッド製法	アッパーをつり込んだ後、アッパー・中底・中板、ウェルト・中板・本底をダシ縫いする方法です。
ブラッチャー	靴のヒモ部分の型式の一つで、俗にいう外羽式を指します。

フラットヒール	ヒールの高くない、フラットな靴をいいます。
FRINGE	糸や紐等を束ねて作った房飾りのことで、革靴では細く切られた革を用いる事が多いです。
プラットフォームシューズ	底部分に厚い台の様なもの（プラットフォーム）が付いた靴を指します。
フランス・サイズ	フランス式サイズ表記です。
ブル・オーバー	靴型だけではわかりにくい、靴になった時のイメージをつかむために、靴型の上にアッパーを被せたものをいいます。
ブル・ストラップ	靴のかかと部の上に付けられたループ状のつまみの事で、主にハイカットに用いられます。
ブル・ハイド	生後3カ月以上で、去勢されていない牡牛の革を指します。
フルグレイン・アッパー・レザー	銀面のある革（銀付き革）を用いた甲革のことを言います。
フル・ブローグス	小穴の飾り模様（メダリオン）をふんだんに施した、ウィングチップともいいます。
フレアヒール	かかと部から接地面にかけて広がったヒールです。
プレーン・トウ	爪先に飾りやステッチ、また、切り替え等もない無装飾の靴のことを指します。
プレーン・パンプス	ストラップや切り替え等のない、無装飾のパンプスです。
ブローギング	小穴の飾り模様などで装飾を施すことです。
ブローグ	小穴の飾り模様などで装飾された、ウィングチップのオックスフォードシューズを指します。
Vチップ	靴の前方部分をV字型に縫い合わせたデザイン、及びその靴のことをいいます。
Vフロント	外羽根式の靴で、羽根の形状をV字型に切り替えたもののことを指します。

【〜】

ペース	靴を作るときに用いる、木製の釘です。
ベアフット・サンダル	甲を覆うものがほとんどなく、肌の露出度が高いサンダルです。
ペコス・ブーツ	農作業用の靴を原型とするハーフブーツの一種で、レッド・ウイング社の商標ブランド名です。
ペッカリー	イノシシに似た動物で、中南米に生息しています。
ペッグ	靴を作るときに用いる、木製の釘を指します。
ヘップ・サンダル	甲部分にのみ覆い等のあるサンダルで、いわゆるミュール、つっかけのことをいいます。
ベビー・ドール・シューズ	捨て寸が短く、丸く、広いトゥの靴のことで、ヒールが高いことが多いです。
ペニー・ローファー	甲部分にベルト状の革の付いたデザインの靴のことで、ローファーの代表的なデザインを指します。
ベロ	足の甲へ水や粉塵の浸入を防ぐ部分で、衝撃を緩和する役割もあります。ベロとも呼ばれます。
ベロア	起毛皮革の一種でスエードと比較し、毛足が長くキメの粗い仕上げが特徴です。
ペンシル・トゥ	ロングノーズよりも長くトゥが鉛筆のような形状のことを指します。
ベンチメイド	一人の職人が革の裁断から底付けまで全ての工程を行なうことをいいます。
ベンハー	鼻緒に装着されている甲を止める為のベルトで、映画「ベンハー」で着用されていたためこの名称が定着しました。
扁平足	土踏まずを支える筋肉が緩み土踏まずが完全に地面に着いている状態で、運動不足など様々な要因があります。

【ほ】

ホースハイド	全体的に薄く、柔軟性に富む為古くから衣料品に用いられてきました。しばしば靴で用いられるコードバンが有名です。
--------	--

ボート・シューズ	船乗りなどが愛用する靴で、濡れた甲板でも滑らず動きやすいように様々な工夫が凝らしてあります。
ホールカット	アッパーを1枚の革で縫い合わせた靴で、縫い合わせが踵にしか存在せず高い縫製技術が必要です。別名ワンピース。
ボール	足の指の付け根の事を指します。
ボールガース	親指と小指の一番張り出していて、靴の横幅で最も太い部分を指します。足や指が動く時の支点となります。
ポーリッシュ	婦人用の編み上げブーツの一種。ポーランドでよく履かれていたのが語源とされています。
ポイントッド・トゥ	つま先が細く尖り、捨て寸を多く取りつま先の窮屈間を緩和する事を目的としたディテールです。
ボウ	トゥに施される装飾の一種で、ボウタイのようなりボンが特徴です。
細革	甲側の革とソールとの間に挟みこんで縫われている細い帯のような形状の革のことで、ウェルトとも言います。
ボックス・カーフ	革の表面に美しいシボ加工を施したカーフの事で、とても柔らかく美しい光沢が特徴です。
ボックス・トゥ	衝撃などからつま先を保護すると共に、靴の型を維持する為の芯材です。
ホホバ油	ツゲ科の植物から抽出されるオイルで、高い保湿力を持ち化粧品にも使用されていることで有名です。
ポリッシュ	靴に艶や光沢を加えるためのケア用品で、油性ワックスとも言い、ロウと油分が多く含まれている為防水性も増します。
ボロネーゼ製法	マッケイ製法の一つでトゥ側が袋のような形状をしており、柔らかな履き心地が特徴の製法です。
本底	靴と地面が直接接し最も耐久性を求められる部分です。アウトソール、外底とも呼ばれます。
本染め革	キメが細かく傷の無い子牛の革を染料で染めた革の事で、深みのある上品な輝きが特徴です。

【ま】

マウンテンブーツ	路面環境の悪い山などで足首を保護する為アングル程度の高さや、グリップ力の高いソールが特徴の靴です。
巻きヒール	ヒールの側面を革などの素材で巻き込んだヒールの事です。
マッケイ製法	アッパーとソール、中底を一緒に縫う製法で、通気性に優れ中敷きに縫い糸が見えるのが特徴です。
マット仕上げ	革のツヤ消し仕上げ、くすんだ表面仕上げのことです。
マッドガード	「泥よけ」の意。ソール周りをラバーで包む製法です。
豆寸	約12cm～15cmの子ども靴のことを指します。

【み】

ミュール	カカトやくるぶし部分にベルトなどが付いていないサンダルです。
ミリタリーブーツ	軍用の靴をモチーフにしたブーツをいいます。
ミンクオイル	動物性のオールドレザー用の保革オイルで、革に栄養を与え柔軟性と栄養を与えるものをいいます。

【む】

ムートンブーツ	ムートンとはフランス語で羊毛のことであり、ムートンブーツとは羊の皮革で作られたブーツを指します。
---------	--

【め】

メダリオン	つま先部分などに施される小さな穴をたくさん開けた装飾です。
メッシュ	網の目状に編んだものを指します。

【も】

モールド	鋳型・型を意味し、革のバクテリアやカビによる色褪せや消えないシミのことです。
------	--

モールド・ソール	型にゴム・ウレタンを流し込み作る底のことです。
モカシン	インディアンが履いていた表と底が1枚の革からなる靴です。
もみ革	機会・手で表面にシボをつけた革を指します。
モンキーブーツ	編み上げのアンクルブーツのことで、正面から見た様子が猿に似ていたことからこの名が付いたが正式ではありません。
モンクストラップ	モンクとは修道士の意で修道士が履いていたことが由来です。

【や】

ヤハズ仕上げ	底革の側面(コバ)を三角形のように尖った形状に落す仕上げを指します。
--------	------------------------------------

【ゆ】

有機溶剤	塗料製品の、ボンド・シンナー・ラッカーなどの物質です。
油性ワックス(ポリッシュ)	ロウと油分で構成されるワックスである。防水効果があり靴の光沢・ツヤを出します。
ユーチップ	ゴルフシューズが起源とされているつま先部分にU字型の切り替えステッチが施されたものです。
ユニット・ソール	本底とヒールが一体で成型されたソールであり、材質は合成樹脂を用いるものが多いのが特徴です。

【ら】

ライディング・ブーツ	乗馬用の膝丈の革靴です。
ライニング・レザー	靴の内張り(裏地)のことで、靴の内側に使っている革を指します。
ラウンド・トウ	つま先が丸くなっている形状をいいます。
ラストイング	釣り込みのことで、製甲済みのアッパーを靴型にかぶせ、周りから引き、靴型に添わせ、立体的な靴の形にする工程です。
ラスト	靴型を指します。
ラバーソール	ゴム素材でできた底部です。

ラムスキン	生後 1 年以内の子羊の皮、または、それを鞣した革を指します。
-------	---------------------------------

【り】

リザード	爬虫類皮革（エキゾチックレザー）の中でもポピュラーな素材で、独特の鱗模様は幅広く各種類の製品に使用されています。リザードに使われるトカゲの種類は約 9 種類ほどあります。
リッジウェイソール	深めの刻み込みが入ったイギリス製のラバーソールです。
リフト	ヒールが地面と接触する部分に取り付けられている革、またはゴムを指します。
リブ	中底の下部に作られた壁状のつまみを指します。

【る】

ルイヒール	付け根が太く、中間部分がくびれた優美な曲線的なヒールを指します。
-------	----------------------------------

【れ】

レース	靴紐を指します。
レースステイ	紐靴の甲部分にある左右からの覆いを意味します。

【ろ】

ロー・ヒール	高さが低めのヒールのことで、規定はありませんが 3 センチ未満が目安です。
ローファー・シューズ	甲部分にモカ縫いがしてあり、中央部がくり抜かれたベルトがウエスト部からついている靴を指します。
ロック・ステッチ	2 本の糸で表側と裏側からスタートし、中間部分で絡み合わせる縫い方です。
ロングブーツ	筒の高さが膝より上にくるブーツの総称です。

【わ】

ワーク・ブーツ	くるぶしほどの高さの、鳩目がついた、紐で締め上げるタイプの革製編み上げブーツを指します。
ワラチ	メキシコの民族的な履きもので、平らな革底につま先甲部から側面へテープ状の革を編み、カカト部分でつなげて作られています。
ワラビー	モカシンタイプで紐付きのアンクルブーツで、英国クラークス社の商標です。